

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-20-1 事業名 都市防災推進事業（富岡町復興まちづくり計画策定）
事業費 126,198千円（国費94,647千円） （内訳：業務委託料126,198千円）
事業期間 平成24年度～平成27年度
事業目的・事業地区 平成24年9月に策定した「富岡町災害復興計画（第一次）」の基本方針や施策・事業等を見直し、新たに必要性が生じた町民の生活再建支援に関する施策や、町内の復旧・復興に関する施策、町内全域の土地利用計画等を検討し、中・長期的な目標を改めて示すことを目的とする。
事業結果 計画策定にあたり、以下のとおり調査・検討を実施 (1) 富岡町復興まちづくり計画 ・津波シミュレーション ・まちづくり検討委員会 開催：全4回 構成：住民、有識者、国・県等の関係機関、町職員 (2) 富岡町災害復興計画（第二次） ・検討委員会 開催：全9回（100時間以上のワークショップ形式） 構成：町民委員30名、町職員委員26名 ・政策化会議 開催：全5回 構成：有識者、国・県の関係機関、町職員 ・町民の生の声の収集（町政懇談会） 開催：県内（郡山、いわき）、県外（宮城、茨城、東京、千葉、神奈川） ・意見公募（パブリックコメント） 対象：避難先の町民全世帯 意見：336件
事業の実績に関する評価 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 本事業において策定した「富岡町災害復興計画（第二次）」に基づき、住居や医療・福祉、教育などの暮らしに関わる環境を整備するとともに、地域行事の再開や町外における行政機能の継続による避難者支援の取り組みなどにより町外で生活する方々と町との心のつながりにも積極的に取り組んできた結果、平成29年4月1日の帰還困難区域を除く地域の避難指示解除、さらには、令和2年9月1日現在の町内居住者が1,498人まで増加したことに繋がった。 ② コストに関する調査・分析・評価

プロポーザル方式によって優れた企画提案を行った業者と業務委託契約を締結しており、適切なものとする。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

避難生活が長期化し、復興に向けた道筋をできる限り早期に示すことが求められる中、限られた事業期間の中で、ワークショップ形式による検討委員会での議論や意見公募を実施する等、多くの町民の意向を集約するよう努めており、事業手法は適切であったと考える。

事業担当部局

富岡町 企画課 電話番号：0240-22-9010